

第2回事例発表会 アンケート集計結果(記述回答)

質問2: 事例発表内容で気づいたことや学んだことをこ

〈連携〉

- ・多職種連携には心配り、心配りが必要だと思った。
- ・他職種との連携
- ・連携について多種多様であり、この事が一番大切だと
- ・多職種の連携の大切さを改めて感じました。
- ・連携の取り方は私たちももっと考えていかないといけない
- ・連携ツールとしてMCSに興味を持っています。
- ・病院と在宅との早めの情報共有

- ・関係職種との連携の大切さ
- ・多職種連携の取り組みを自部署でも振り返りたいと思
- ・どのように他職種連携を行うか
- ・他部署との連携の大切さを知りました。利用者さんの
- ・多職種連携の客観的な評価は是非試みたいと思った
- ・入退院の連携のことはやはり病院側へ伝えたい内容
- ・連携行動評価尺度については、客観的に振り返る手
- ・退院して在宅に移行するにあたり入院中より病院と在
- ・利用者・家族の周りにいる他職種スタッフが同じ方向
- ・連携不足で介護負担を増大させないようにスタッフと
- ・医療連携に関してはなかなか前に進んでいないと感じ

- ・多職種連携に関しては、今後ますます重要になってく
- ・入退院情報連携ルールが活かされることの大切さを
- ・連携行動評価尺度の存在を知った。客観的に評価す
- ・「多職種連携」はやはり訪問看護がキーだなと改めて
- ・多職種連携でステーションを増やすことで難しさは増
- ・連携の大切さを学んだ。情報共有手段を含めて話し合
- ・日頃の業務の中でも多職種連携の重要性は感じてい
- ・同じ系列の施設内での多職種連携は横のつながりが
- ・独立して2事業所ではなかなか仲間に入りにくいところ
- ・利用者、家族にとって在宅で良かったと思っていただ
- ・多職種連携の重要性を改めて感じた

- ・多職種連携のツールや評価尺度など知ることができ、
- ・連携行動尺度は参考になった
- ・職種連携をするためにも知識を深めていきたい
- ・多職種との連携を重要に考えている事業所が多く、関
- ・多職種連携においては、多くの情報の中で何を伝える
- ・各専門職での強みを活かし、フォローしていくことで連

<ICT>

- ・MCSを使用していますが、自分の携帯なので職場に
- ・情報共有ツールの必要性和課題を学べました。課題は
- ・地域によって取り組みの違いを感じた。ICTの活用が、

- ・ICTの活用は各県で進めて欲しいと思った。
- ・ICTやMCSの活用状況について知ることができた。
- ・ICTを利用した連携ツールの存在を知ることができ、

＜ステーションの取り組み＞

- ・各訪看の取り組みへの意識
- ・県内のステーションがどこも大変なことを乗り越えなか
- ・他事業所の取り組みを知ることができてよかった
- ・各ステーションの方々がとても努力されていると感じた
- ・ステーションの頑張りが伝わってきました。
- ・病院併設型のステーションの強みを感じた。自分のス

- ・他のステーションの取り組みが具体的にわかって良かった
- ・フィジカルアセスメントで難しい状態の方を在宅に復帰させた
- ・自ステーションの事例も尺度を使用して評価してみた
- ・興味のある事例の発表で、これからの業務に役立てた
- ・他のステーションの事例を聞いて、より広い視野と自信が持てた
- ・各ステーションでいろいろな取り組みをしていることがわかった
- ・重症例の支援をすることはなかなかないけれど、ミニシフトで対応できる
- ・利用者が入院したら病院と入院直後から退院支援と連携して対応できる

＜訪問看護の質＞

- ・自分の仕事を振り返り、再度利用者さんのアセスメントをする

- ・入院時から退院後の生活にむけて考えていくことの重
- ・スタッフ間の質や能力の差についてスタッフ全員でフ
- ・新たなツールや原点に戻る症例など、訪問看護の楽
- ・訪問看護の看護の質の高さや定期的なデータやアセ
- ・いろいろな事を一つ一つ評価していくことで、質の向
- ・その人らしい在宅で過ごすことを改めて考えることが
- ・自己評価、強み、弱みを明確にし、スタッフのスキル
- ・尺度を用いた事例、数値化が参考になった

<その他>

- ・伝えるということに関する事がもっと具体的に指示さ

- ・忙しい中、事例をまとめられたことすごいと思いました
- ・ミニトラックなど知らなかった知識を得ることができた。
- ・同じ訪問看護師として苦悩など共有できるものがあった

質問4: 特別講演の内容について「どのようなことが学

＜伝え方＞

- ・伝えることは難しいと分かっていました。これからは、
- ・管理者として日常業務の中でスタッフに伝えていた人

- ・伝える力、アセスメント、計画する、動く、振り返る
- ・伝え方の難しさ、それを簡単に分かりやすく伝える方
- ・理解を得るための言葉の使い方、伝え方
- ・行動変容するための伝える力が大事だと感じた。
- ・伝えるには伝える内容、何ができて何ができないのか
- ・分かりやすく伝えること、その目的である伝えた相手
- ・自分が伝えるべきことを十分に理解する事、そしてそ
- ・相手によって伝え方や使う言葉を変えること
- ・分かりやすい言葉を使って話をする事の大切さ
- ・伝え方の重要性についてとても勉強になった
- ・伝える力を学びました。

- ・伝える力は本当に大きく自助をどう伝え、自分から元
- ・もう少し「伝える方法」を中心に聞きたかった。
- ・伝える事の大切さ、伝え方を学べた

＜自立支援＞

- ・介護費用の不足の事前対処が必要だと感じました。目
- ・自立に向けての支援がとても大切だと改めて感じた。
- ・自立支援の考え方、本人の行動変容アプローチする
- ・行動変容をどう起こすか、難しいのですが、考えていま
- ・支援者、要介護者のADL・IADLの自立
- ・自立支援の大切さと自立支援を促すことが利用者の

- ・自立援のために必要なサービスをどのように調整して
- ・自立支援の重要性、今後を見直した支援。
- ・現在、提供している介護保険下サービスにおいて自立
- ・介護保険の制度の目的は「自立支援」であるというこ
- ・今日のような話を病院リハ、地域包括病棟の方々に聞
- ・自立支援の重要性
- ・廃用症候群の方へのケアをどうしていくべきかとても
- ・自立支援に向けてのかかわり方は難しい面があると
- ・生活不活発なのか、疾患由来なのか見極められるよ
- ・お風呂に入らないからデイサービスの利用という考え
- ・介護保険を使うとは、ケアシステムとはなど分かってし

- ・自立支援アプローチ、分かっている人ほど分かりやす
- ・自立に向けての看護ケアが重要だと改めて感じた
- ・予防介護の大切さに気付いた
- ・先の世代まで見据えての今の関わりが重要と学んだ
- ・自立支援へのアプローチの方法を間違えないように
- ・できないことが期限があるか永続的なのか判断し、そ
- ・ケア会議のアドバイスに役立つものであった

＜社会問題＞

- ・大分県の高齢化率が全国的に上位であると知った。
- ・大変な世の中が目の前まで来ている何とかしてい

- ・現在の社会と今後について分かりやすく学ぶことができた。
- ・高齢化社会にもなり、介護保険増となることを見据え、
- ・とても分かりやすくこれからどのように連携や市民啓蒙
- ・社会問題の現状を深く知ることができた。
- ・日々の問題解決だけではなく社会全体としての問題と
- ・今の日本の現実が良くわかった
- ・日本の遠い未来ではなく近い未来に財源も人も不足し

<連携>

- ・多職種連携の重要性
- ・今後のステーション運営のヒントをもらえた。

- ・サービスの使い方について考えがずれていた部分が
- ・訪看の地域への活動への拡大
- ・その人を分析する(病気や生活能力他)、他職種との
- ・訪問看護は一人一人の行動分析をして多職種へ伝え
- ・包括支援ケアシステムがわかり、伝える事も個に合わせ
- ・生活不活発の予防に向けて、訪問看護の役割、連携
- ・業務でもより具体的に簡単にわかりやすく伝えられる
- ・何か手伝いをしようが利用者にとっては余計なお世話
- ・リハビリ職員もいるため伝えて連携に活かせるように
- ・今後の社会的な問題も視野にいれつつ連携をとって
- ・相手に合わせて伝えることの大切さを改めて学べた

- ・職種による視点の違いを感じた。他職種の視点を学ぶ
- ・リハビリスタッフも積極的に栄養評価に取り組み、ADI

質問5: 研修に関する感想・ご意見など・・・

- ・とても学びの多い研修でした。ありがとうございました
- ・一人一人の発表時間、質問時間が適切だったと感じる
- ・後見人制度に関する研修をしてほしいです。
- ・自分の学びをもっとしていかないといけないと感じた。

- ・今回の講演を他の職員にも聞かせたい
- ・事業所毎ではなく、自治体が在宅記録のツールを定め
- ・資料がカタカナで分かりにくい言葉が多い。日本語で
- ・ACP支援における看護師の役割、訪問看護ステーション
- ・ACPを勧めるにあたっての倫理的に気を付けることに
- ・とても分かりやすく、楽しく聞くことができた。
- ・父親を楽のデイサービスに行かせたいと思いました。
- ・具体的で分かりやすかった。
- ・大事なことを思い出させてもらいました。
- ・もう少しゆっくり話を聞きたかった。
- ・訪問看護に携わって1年弱。目からウロコの話も多くと

- ・先生のいうことは最もだと思いましたが、現場では、
- ・事例発表と講演が一緒に良かったが、講演をもう少し
- ・事例発表の雰囲気良かった
- ・今後も訪問看護の情報交換の場を続けて下さい
- ・せっかくの素晴らしい研修だが遠方からなかなか来る
- ・盛りたくさんの研修会でとても勉強になった。もうすこ

奇)

自由に記載してください。

感じた

ないと思いました。

りました。

負担を減らすように知識を今まで以上に得ようと思いま
。

です。受け入れの時などとても大変さを感じます。
段としてとても勉強になりました。

宅スタッフ間の連携はできるだけ早く行い準備する必
を目的に協力していくことも大切なことを感じた。
連携しながら多職種連携にも努めていた
た

と思うので、常に情報共有していくためのツールを考

印った

ることの大切さ

思った

すと思った

言いたい

いる

あり、連絡・報告しやすいと思った

うがあると思う。国東地域のように地域全体で連携を進

けるような多職連携の重要性を改めて感じた

、ステーションで活用できたらと思う。

関心と実施に向けた取り組みを皆さんがしていると思った。どうかアセスメント能力やコミュニケーション能力が大切な連携の強化に繋がると改めて実感した。連携が強化でき

スマホ導入を考えてもらいたいと今度伝えようと思いましたが、こについてはツールの導入にあたっての意思決定の難しさが必要になってくると思った。

その後、利用できるようにしていきたいと思った

ばらやっているんだと思うと当事業所だけではないと心引
こ。

ステーションの役割や方向性を考えることができた。

かった

聞かせている工藤さんの事例はとても学びになった

と思う

たいと思う

由な発想でよりよい支援に繋げる必要を再認識した

わかった

トラック管理での事例についてはとても参考になった

って自宅に帰ることに向けて行動できるようなシステムイ

トをし直し、知識を使ってよりよいケアをできるようにしよ

重要性を感じました。

ホローする大切さ

しさとやりがいを忘れかけていた為、きてよかったと思
いコメントなどとても有意義な内容だった。感動しました。

ヒにつながられる

できた

アップにつなげればと思う

いるとテーマに沿って学べたかと思います。

。

、

た

べましたか？

難しいことを簡単に伝える力をつけていこうと思います。
に伝えることの大切さを再認識できてよかったです。

法の大切さと、今後習得していく大きな課題、とても勉強

い等のアセスメント、そのアセスメントを本人にとって分かが行動変容を起こすことの必要性を学びました。
それを伝える訓練が必要であることを改めて認識させられ

気になりたいと思って行動変容できるようにつなげてい

自立への支援が今後重要であり必要だと感じました。
でも実際には難しいと考え、どうしたらいいか・・・考えて
こと
きたいです。

心をどんなによい影響を与えるのかをしっかりと考えるこ

いべきかを改めて学び、これから地域ケア会議のアト

とできる「能力」に気づけているかハッとさせられました。

とを学んだ

罰いていただいて患者の行動変容をすすめていただき、

勉強になった。

惑じていますが、いろいろな事を考えるととても大切なこ

うアセスメント能力を向上させたい

ではない。一つ一つの行動がどう影響し、生活を向上て

いたつもりであったが、多く学びがあった

い言葉、地域ケア会議・助言、日本の先を見据えた自

毎度個別なアセスメントをチェックしないといけないと痛
の要因についてアプローチすることが重要

ないといけないと思いました。利用者の中で生活不活発

きた。

て、住民に知識を持ってもらうことにより少しでも保険料
を省いていくかを考えるヒントを頂いた。

として考えていくことが大切だと思った

としていくことが起こり、怖い感じがした

あることに気づいた。関わり方の目標や目的について

関わりが大切だと思った。

する役割があると思った

させてわかりやすく説明することもわかった

の大切さを学んだ。自分ができることから1つずつ始めよう研鑽に努めます

引になっているところがあるかもしれない。多職種と連携したい

はくことが重要であると思った

ぶことも大事だと思う

・IADLの向上につなげられるようにステーションで取り:

。
ました。

もっと勉強しようと思います。

わて各事業所が共通で利用できればよいと思った。
お願いしたい。
ヨンの役割について聞きたい
について

とてもよかったです。

・全、リスクの面から過剰なサービスを入れる場合もあり
・長く聞きたかった

・ことができない。出張研修をもう少し増やしてもらえると
・ゆっくり聞きたかった

す。

要性があると思った。

えていくことが必要だと思った

められれば良いと思った

こ
ことを学んだ
ることで利用者、家族が安心して在宅生活を継続できる

す。
きがあると思います。

金いです。

作りが必要だと思った

こう思いました。

いました。

良くなりました。

いりやすく伝えることが重要と感じました。

しました。

くか興味深く学ぶことができた。

こいかないといけないと思った。

と

バイザーとして役立てたいと思いました。

自分たちも実践していきたい。

とだと思うので努力していきたい。

できるか考えながら支援していきたい

立支援、サービス内容の見極めについて学んだ

感した

業者がいなか見直してみようと思った。

削減に努めるためには分かりやすくお伝えできるように

互認識できました。

る

して自立を目指すことも考える事が重要と思った

組んでいきたい

ります。今後のことを考えると葛藤を生じてしまった。

:スタッフも参加しやすいと思う

らと思った

:なることが